



今泉地区 コミュニティだより

地域の広報紙

第35号

2024年11月1日

発行/今泉地区

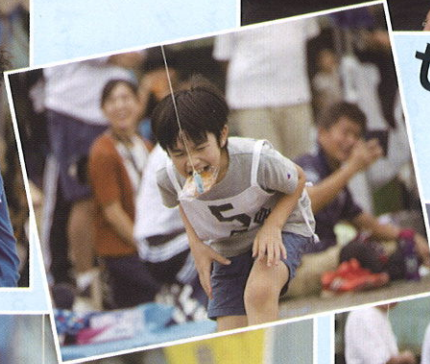
コミュニティ協議会

編集/総務委員会

印刷/下野印刷(株)



ガンバシ! ガンバシ! あとちよつと!!
せんべい食い競争 名場面



9月29日(日) 今泉地区体育祭開催



宇都宮のまんなかで暮らす。

LRTの通る宇都宮市の中心部を快適なまちにする

今泉・宿郷地区のポータルサイト

テスト運用中のトップページ（8月取材時点）

新・ホームページ まもなく始動

長らく休止していた今泉地区ホームページが、再開に向かって動いています。専門業者に入ってもらい、コミュニティ協議会ホームページ運営委員会のメンバーを中心に、ホームページ作成会議が継続して行われています。「どんなホームページにしたいか」の議論と並行して、自分たちで更新や管理ができるようになるため勉強中。そんな会議とレクチャーの様子を取材しました。

お試し投稿を手直し プロに教わる極意

8月某日、コミセン会議室に数名のメンバーが集まりました。ホームページ制作会社、つばめソリューション（株）の石川氏を迎えての会議兼勉強会は、7月末の初回から数えて3回目です。

パソコン画面を大きなモニターに映すと、仮とはいえ、ライトラインをメインに据えた魅力的なトップページが現れました。

この日は主に運営管理者としての投稿の仕方についてレクチャーが行われました。前回、練習として投稿をするという宿題が出されていたそうです。

テスト運用中の画面を開いてみると、自治会からのお知らせや、お薦めの観光スポット、イベントの案内など、本日の出席者による投稿が、いくつか上がっていました。

投稿の際に感じた疑問に→

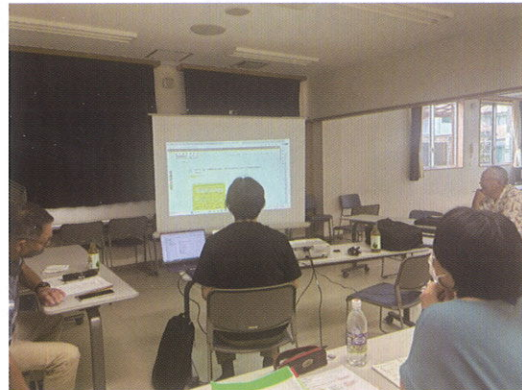
答えながら、石川氏が手直しをしていきます。



見てくれる人の側に 立ったページ作りを徹底

一般的に、ホームページを見ることはあっても、作る側になることは稀です。それゆえに、目からうろこのレクチャーが続きます。

例えば、写真を投稿するときは別ボタンでクリックして開かせるのではなく、最初から文章と一緒に貼り付けておく。イベント告知のタイトルには、日時や場所も入れておく。クリック



しないと中身がわからないのは見る気が失せる等々。また、イベントの会場案内に地図のリンクが貼つてあると親切だとのことで、そのやり方を地図アプリを開いて教えていただきました。ホームページを見に来てくれる人の心理を想像しながら作ることが、何より大切なようです。



「いったん、国語で習ったことは忘れましょう」

さらに印象的だったのは、「ここでは国語の授業を忘れましょう」という、長文の投稿をする際の石川氏のアドバイスでした。

ホームページを見る端末はスマホ、パソコン、タブレットなどと様々で、画面の大きさもそれぞれ違います。パソコンで見やすいように作ると、スマホでは文章が読めなくなったりする。その逆もあり。

だから、「すべての環境で



確かに、昔、国語で習った原稿用紙の書き方はここでは適用外のようなのです。

運用開始は来年1月

議題は、ホームページにどんな内容を入れたいかという点に及びます。聞き慣れないウェブの専門用語が飛び出しますが、メンバー

の皆さんは理解して自分のものになろうと奮闘している様子です。「エッセイのようなホッとする記事も載せたい」「トップページはLRTが走って近づいてくる動画にしたい」などのアイデアもどんどん生まれてきています。完成は来年1月の予定。その日を楽しみに待ちたいと思います。

『今泉地区で暮らす。』がわかる情報を

ホームページ運営委員長 二瓶正幸

話題のLRTが走り、駅に近い静かな住宅地。住みやすい町として、市への転入希望者がまず注目するのが今泉地区だそうです。ホームページを刷新するにあたり、自分が作るなら……と考えました。「今泉地区はどんな町だろう」とページを開いたとき、もっと知りたいと思ってもらえるような、心惹かれる画面がほしい。そして、福祉、教育、スーパー、住宅情報など、生活する上で本当に必要な情報が得られる利便性の高いものになりたいと思いました。そのためにはプロの手を借りるのが良いと考え、ITで地域を

活性化したいとのコンセプトをお持ちの事業者を選びました。ゆくゆくは更新などは自分たちで行って、定期的なメンテナンスをお願いしようと思っています。LINEで更新を通知する、企業広告のリンクを貼り広告料をホームページの維持費用に充てる、英語版を作るなど、実現するかどうかはわかりませんがやりたい事はたくさんあります。将来的には若い人に引き継いでもらい、時流に応じて柔軟に変えていってもらえたらと思います。完成はまだ少し先ですが、皆さん、見てください。（談）

地域活動の新団体

初めまして！Neo今泉です

故郷、今泉への思い

『おやじの会』という、地域のために活動する団体が、今泉地区には存在しないことが結成のきっかけでした。私が生まれ育った今泉地区を護り、地域を活性化したいという思い、次世代の地区に対する思いもあります。

Neoとは『新しい』の意味

『おやじ』に限らず、誰でも参加できる、地域に新風を吹き込むような活動にしたいという意味を込めて、『Neo今泉』としました。現在、正規メンバーとして、今泉小OB・OG、PTAの同志13名（うち女性3名）が参加しています。

最初の活動は冷凍みかん

Neo今泉として最初の活動は、『夏の夕べ・盆踊り』にて屋台で冷凍みかんを販売予定でしたが、台風接近のため中止になりました。関係者でテ



トの後片付けをしたとき、冷凍みかんを無料提供させていただきました。猛暑の中、作業をしておられた皆さんは喜んで召し上がってくださいました。

冷凍みかんは、9月29日の今泉地区体育祭にて販売することとなり、おかげさまで好評を得ることができました。

今後今泉地区に貢献したいと思いますので、よろしく願います。

代表 鈴木健一

今泉地区の行事報告

5 月

19日 球技大会

ソフトボールとバレーボールの大会が今泉小学校校庭及び体育館にて行われました。熱戦を制して優勝したのは、両競技ともに今泉南自治会でした。



7 月

7日 ハイキング

奥日光の湯滝を出発し、小田代ヶ原を通って竜頭の滝までのコースです。熊に警戒しながらの道のりでしたが、天気にも恵

まれ、無事ゴールすることができました。



25・26・27日 陶芸教室

夏休みに、今泉わくわくステーションの陶芸教室が開かれました。益子焼陶芸作家の佐藤仁先生にご指導いただき、陶土を造形しました。



8 月

1・2・3日 親子料理教室

わくわくステーションの夏休み企画第2弾。ホットケーキミックスを使ったピザを作りました。甘めの生地塩気のある具材の

取り合わせが好評で、「家でも作りたいね」と親子で話す姿も見られました。



9 月

8日 敬老会

今泉小体育館にて地区の敬老会が開かれました。参加者が笑顔で見守る中、孫世代に当たる児童代表の手紙の朗読があり、続いて民謡の演奏を楽しみました。自然と手拍子が起こるなど、和やかな会となりました。

